



農業構想の実現方策

本市の農業・農村の将来像の実現を目指して、5つの基本方針に基づき施策を展開します。

基本方針 1 競争力のある食と花の確立

◆日本でも有数の食料生産・供給基地として、今後も食料供給地としての役割を果たすためには、安心・安全、高品質で安定的な量の農産物を常に供給する、競争力のある産地づくりを進める必要があります。

安心・安全で、品質、生産量、価格の安定した水田農業、園芸、畜産を推進し、日本の農業をリードする、競争力を持った農業を目指すとともに多様な販路の拡大を図ります。

サブテーマ 1 売れる米づくり

施策	取り組み
施策 1 販売力のある主食用米づくり	①安心・安全な米づくり ②高品質で競争力のあるコシヒカリづくり ③需要に応じた品種による主食用米づくり
施策 2 水田フル活用の推進	①非主食用米 ^{※5} の生産推進 ②多収穫米の生産推進 ③新形質米 ^{※6} の生産推進 ④大豆等の土地利用型複合経営の推進
施策 3 低コストな米づくり	①低コスト・省力技術の普及 ②ICT（情報通信技術） ^{※7} の導入推進

サブテーマ 2 消費者の期待に応える食と花の確立

施策	取り組み
施策 4 品質の確保された農畜産物の生産	①安心・安全な農畜産物の生産 ②栽培技術の向上による品質確保 ③ICT（情報通信技術）の導入による品質確保
施策 5 安定した生産量の確保	①安定生産技術の確立 ②作業ピーク時の労働力確保
施策 6 新たな品目・品種への取り組み	①新たな産地形成 ②複合経営の推進 ③花き・花木産地の活性化

サブテーマ 3 食料基地からの発信

施策	取り組み
施策 7 地産地消の推進	①直売所の利用促進等、市内への販路拡大 ②農畜産物の安定供給 ③消費者のニーズを把握する仕組みの構築
施策 8 ブランド化の推進	①品目ごとの特性を踏まえたブランド戦略 ②食と花の都のブランド化 ③農畜産物の高付加価値化
施策 9 国内の販路拡大・輸出の促進	①品目ごとの特性を踏まえた販売戦略 ②農畜産物輸出の促進

基本方針 2 意欲ある多様な担い手の確保・育成

◆本市のこれまでの農業は、農地の貸借、作業受委託、集落営農など、地域内での連携により農家の減少に対応してきましたが、今後さらに離農者が増加すると、担い手が農地を引き受けきれなくなる状況が考えられます。

意欲ある担い手が営農を継続できる環境を整備し、地域内で農家間の連携体制を確立するとともに、多様な担い手を確保・育成し、また女性の活躍を促進することで持続可能な農業を目指します。

施策	取り組み
施策 10 新規就農者・農業生産法人等の確保・育成	①幅広い多様な人材・企業の受入れ促進 ②担い手に育つまでの支援体制の整備
施策 11 農業経営の確立	①農家の経営の安定化 ②農地集積・集約化の推進 ③経営の多角化の推進 ④他産業との連携の推進
施策 12 農家の連携の強化	①地域複合経営の取り組み促進 ②作業ピーク時の労働力確保・作業省力化の推進 ③農業水路等の維持に関する共同作業の促進
施策 13 女性農業者への支援	①女性の経営参画に向けた環境整備の推進 ②女性農業者の社会参画に向けた環境整備の推進

基本方針 3 力強い農業生産基盤等の整備・保全

◆本市の農地は、排水対策の実施など土地改良により低湿地を克服した先人から引き継がれてきた貴重な財産です。農地や農業水利施設を整備することで、海拔ゼロメートル地帯という不利な条件を克服し我が国有数の穀倉地帯を確立してきました。

離農者の増加により農地の流動化が進む中、本市の財産である広大な農地を適正に維持・保全し、経営規模の拡大と生産性の向上等を通じた競争力強化と、本市の農業を支える農業水利施設の適切な更新・保全管理による農業生産基盤の強靱化を目指します。

サブテーマ 1 優良農地の確保

施策	取り組み
施策 14 農地の保全・活用	①農業振興地域整備計画の管理 ②農地流動化の促進 ③農地の維持・活用 ④耕作放棄地の解消
施策 15 優良農地の整備促進	①ほ場整備の推進 ②農地の高度な活用 ③末端排水路のきめ細やかな整備

サブテーマ 2 農業水利施設の整備・保全管理

施策	取り組み
施策 16 施設老朽化に対する効率的な保全対策	◎ストックマネジメント ^{※8} の推進
施策 17 低平地を支える農業農村整備の推進	◎農業農村整備事業の推進

基本方針 4 魅力ある田園環境の創出

◆豊かな自然環境や広大な農地を有する田園と高次都市機能の集積が進む都市とが調和・共存した、「田園型政令市」という“新潟らしさ”を今後も維持するためには、農業・農村のもつ機能を保全するとともに、積極的に活かしていくことが必要です。

環境への負荷をできるだけ与えない営農を続けるとともに、農業の多面的機能のさらなる発揮により田園の魅力を高め、これからも都市と農村が活発に交流する、魅力ある田園環境の創出を目指します。

サブテーマ 1 環境にやさしい農業の推進

施策	取り組み
施策 18 環境保全型農業の推進	◎環境への負荷の少ない農業の推進
施策 19 環境に配慮した整備の推進	◎景観・自然に配慮した整備
施策 20 資源循環型社会の形成	◎資源の循環利用・バイオマス ^{*9} の利活用推進

サブテーマ 2 多面的機能のさらなる発揮

施策	取り組み
施策 21 防災機能の向上	◎農地・排水施設の防災機能の向上
施策 22 魅力ある田園集落づくりの推進	①魅力ある田園集落づくり ②豊かな自然の保全と創出 ③文化の継承

基本方針 5 食と花の理解を深める農のある暮らしづくり

◆本市では、田園部と都市部が隣接するという地理的特性を活かした農業が展開されています。消費地に近いという利点を生かした新鮮な農畜産物の供給という役割に加え、農業体験の場、潤い・安らぎなどの田園空間、自然環境とのふれあい等、農業を身近に楽しめる場を提供しています。

いくとぴあ食花やアグリパークなど、食と農に触れ、親しみ、学ぶ施設を積極的に活用するとともに、本市が誇る食や花の魅力を活用した食育・花育を推進することで、生産者と消費者が交流し相互理解を深め、市民や来訪者が農のある暮らしを楽しむことを目指します。

施策	取り組み
施策 23 食育・花育の推進	①食育の推進 ②花育の推進
施策 24 農村・都市交流の推進	①都市型グリーン・ツーリズム ^{*10} の推進 ②市民農園等の取り組み推進 ③農業サポーターシステム ^{*11} の推進 ④地域を支えるサポーターづくり
施策 25 教育ファームの推進	◎「新潟発 わくわく教育ファーム ^{*12} 」の推進